



図A 李承晩ライン関係図（李ライン、マ・ラインは鹿島研究所出版会『日本外交史 第28巻 講和後の外交Ⅰ 対列国関係（上）』（1973年）、漁場は「日本経済新聞」1952年10月17日による）

出典：「李承晩ラインから竹島問題まで、韓国の主張は正しい」と言われたら（藤井賢二）

【 『韓国・北朝鮮の嘘を見破る - 近現代史の争点30』

（文藝春秋社 文春新書 2006（平成18）年）所収 】